

こうちっ子

第5回

「河内つ子宣言」で

豊かな人生を

河内小学校 安田 仁

めまぐるしく変容する社会において、未来を切りひらいていけるたくましい人材の育成が望まれます。どんなに社会が変わろうとも、人として大切なものをしっかりとつていれば必ず迷うことなく人生を豊かなものにできると信じています。そこで、河内小学校の子どもたちが、自らの力で、豊かな人生を送るために、「河内つ子宣言」の取組をスタートしました。どの言葉も、昔から日本人が大切にしてきた心です。豊かな人生を送るためには、友だちや多くの人と関わり日々生活する中で、行動を正しく選択決定しなければなりません。そのとき、また、自ら行動をふり返るときの指針として、

河内つ子宣言

人をいたわります
ありがとう
ごめんなさいを言います
がまんをします
卑怯なふるまいをしません
年上を敬い
誇りに思える河内小にします
夢に向かってがんばります
みんなを笑顔にするために

この宣言内容
を子どもも大人も心に刻みこんでおきたいと考え、取組を始めました。
周りの人を笑顔にするためには、「思いやりの心」

「感謝の心」「間違いや失敗を受け止める素直な心」「謙虚な心」「人を敬う心」「周りの人の役に立とうとする心」などが必要です。そして、自分自身の人生を豊かなものにしていく心情を育み、「向上心」や「自尊感情」も高めていく基盤を築いていきたいと思ひます。みんなを笑顔にすることが、自身の幸せと思える人をそだてたいのです。

まず、朝の会や帰りの会で繰り返し唱え、児童全員が暗唱し、学校では、道徳や学級会などで話し合う際にも意識して、日々の事象と繋げて考えていくことが大切だと考えています。そして、学校・家庭・地域で大人が手本を示し、素直な子どもたちを育てることが大切だと考えます。

河内の子どもたちの心の中にこの宣言文が深く浸透し、十年後、二十年後に、地域全体が河内小で育つことを誇りに思い、卒業した後も河内小で良かったと思えるように取り組んでいきます。



8月行事



- 6日(月) 売却資源「ゴミ」収集日
- 8日(水) 敬老会準備委員会
- 10日(金) まごころ弁当
- 14日(火) 夏祭り・盆踊り大会
- 16日(木) 社協理事会・会報委員会
- 20日(月) 売却資源「ゴミ」
- 22日(水) 編集会議
- 24日(金) まごころ弁当



健康

広島でも流行している「梅毒」

広島市での梅毒の報告は増加しており、平成29年には62件(前年の約2.3倍)と過去最悪でした。20〜30代女性の割合が大きく増加しています。

★梅毒とはどんな病気？

主に性的接触等で、感染部位と粘膜や皮膚が直接接触することによってうつる感染症です。原因は梅毒トレポネーマという病原菌で早期の薬物治療で完治可能です。

★感染する？

第1期(感染後約3週間)には、感染がおきた部位(主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等)にしこりができることがあります。また、股の付け根の部分(鼠径部)のリンパ節が腫れることもあります。

第2期(感染後数ヶ月)には、病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹(バラ疹)が出る場合があります。妊娠している人が梅毒に感染すると、先天梅毒になることがあります。

★感染したか調べるには？

検査は医療機関(皮膚科、泌尿器科、産婦人科等)や保健センターで受検できます。佐伯保健センターでは、広島市内に在住の方を対象に、第2期4水曜日の午前9時半〜11時半に無料検査(要予約)を行っています。

★感染を予防するには？

感染部位と粘膜や皮膚が接触しないように、コンドームを使用することが勧められます。ただしコンドームが覆わない部の皮膚などでも感染が起る可能性があります。

予約・問合せ先
佐伯区健康長寿課 ☎943-9731



私の思い

昨秋から、時間があれば読書をするようになりました。きっかけは「親が本を読まない家庭では、子ども本を読まない」と子どもが、学校で習ってきたので、これはマズイと思い読書の習慣を心がけています。元々、読書が大の苦手なので最初は睡魔との闘いでした。PTA会長になって学校に行く事も多いし、4年目となると子ども達の名前と顔が一致する子も多く、時々、一緒に遊んでいると先生と勘違いしてるのでは??と思う児童もいますが、本業は美容師です。美容師は、職業柄幅広い世代の方とお話しする事が多いので、本で得た知識が非常に役に立つ事に気付き、最近では、少し楽しめるようになりました。その姿を見て子ども達も、少しずつですが本と向き合う時間が増えました。言うことは聞かないけど親のする姿は見てるので、学校で取り組んでいる「挨拶、返事、靴揃え」の躰の三ヶ条や「人をいたわる」「ありがとう、ごめんなさいを言う」などのみんなを笑顔にする、河内つ子宣言と一緒に意識して継続していこうと思ひます。性格を変えるのは難しいですが、習慣を変えることは出来るので良い習慣を子ども達も巻き込んで身につけたいです。

河内小学校PTA会長 山口雅史